

1

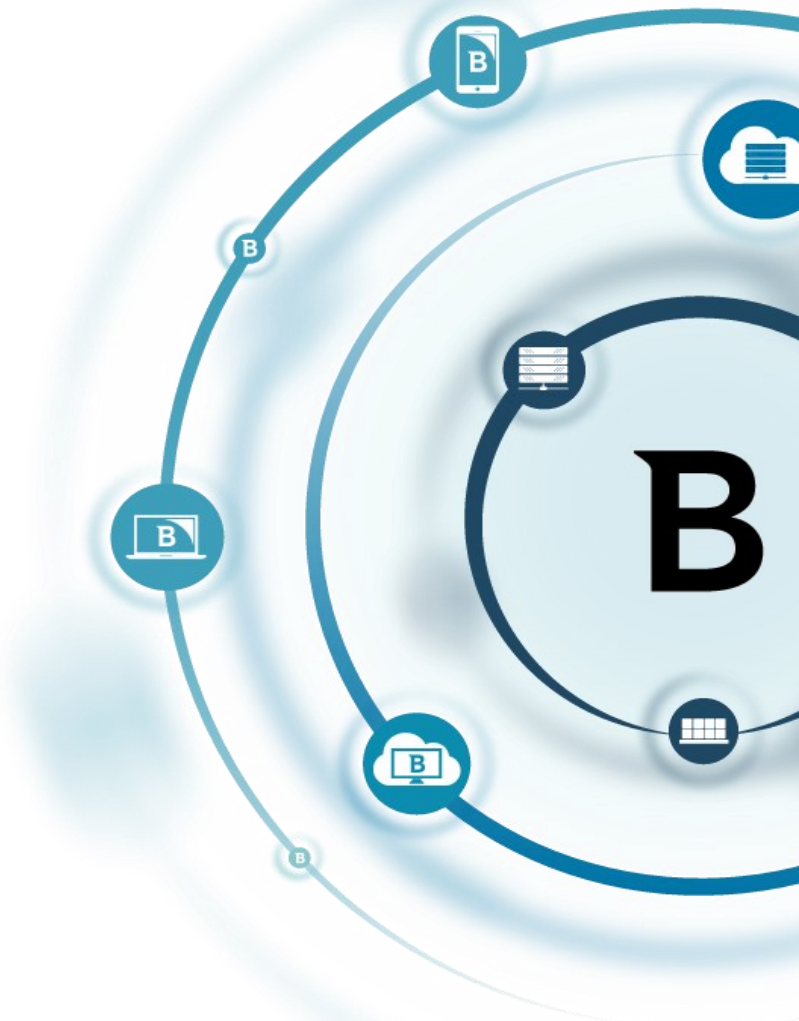
グローバル防御ネットワーク アーキテクチャ コンソール エージェント

Bitdefender® GravityZone

一つのコンソールでWindows、Linux、Mac、スマホら全てを管理保護する

クラウド管理タイプ簡易インストールガイド

無料試用アカウントをご利用の方へ

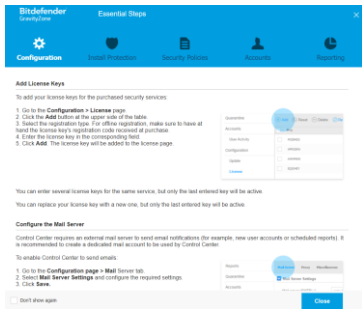


① 管理コンソールにログイン後、インストールパッケージの作成へ

マシンにインストールするエージェントを用意します。

弊社でアカウントを作成が完了すると、Bitdefenderシステムより自動で、登録されたアドレスにログイン方法を記したメールが送信されます。

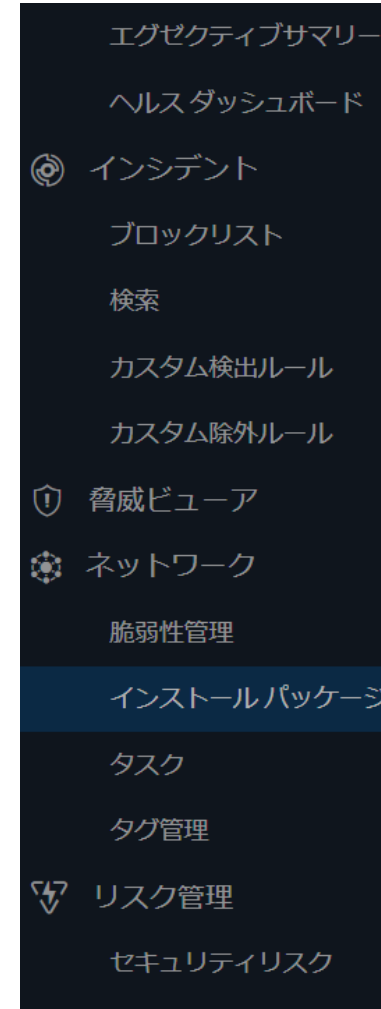
ブラウザからメールに書かれているログイン情報で、管理コンソールにアクセスしてください。



ログイン後に左のようなダイアログが表示されます。このショートカットを利用してすぐに始められますが、今回はあえて×をクリックして閉じて、今後の運用時にも応用が利く通常の手順を紹介します。

ログイン後、以下のリンクをクリック、[作成](#) して作成画面に入ります。
左メニュー > ネットワーク > インストールパッケージ

最初の導入としては右のようなモジュール選択がよいでしょう。これにより基本的な防御機能がインストールされます。



インストールパッケージの作成

動作モード:

検知・防止

モジュール

OS互換性

<input checked="" type="checkbox"/> マルウェア対策	Windows	Apple	Linux
<input checked="" type="checkbox"/> 高度な脅威対策	Windows	Apple	
<input checked="" type="checkbox"/> 高度なエクスプロイト対策	Windows		Linux
<input type="checkbox"/> コンテナ保護			Linux
<input checked="" type="checkbox"/> ファイアウォール	Windows		
<input checked="" type="checkbox"/> ネットワーク保護	Windows	Apple	
<input checked="" type="checkbox"/> コンテンツコントロール	Windows	Apple	
<input checked="" type="checkbox"/> フィッシング対策	Windows	Apple	
<input checked="" type="checkbox"/> Webトラフィックのスキャン	Windows	Apple	
<input checked="" type="checkbox"/> ネットワーク攻撃防御	Windows	Apple	Linux
<input type="checkbox"/> デバイスコントロール	Windows	Apple	

画面は日本語選択時

② モジュールの選択について

インストール時点でマシンに実装したい防御能力は選択してパッケージに含めます。

The screenshot shows the 'Create Installation Package' interface. At the top, 'Operation Mode' is set to 'Detection and prevention'. Below this, there are two columns: 'MODULES' and 'OS COMPATIBILITY'. The 'MODULES' column lists various security features with checkboxes. The 'OS COMPATIBILITY' column shows icons for Windows, macOS, and Linux. A 'Learn more' link is visible at the bottom right of the module list.

MODULES	OS COMPATIBILITY
<input checked="" type="checkbox"/> Antimalware	Windows, macOS, Linux
<input checked="" type="checkbox"/> Advanced Threat Control	Windows, macOS
<input checked="" type="checkbox"/> Advanced Anti-Exploit	Windows, Linux
<input type="checkbox"/> Container Protection	Linux
<input checked="" type="checkbox"/> Firewall	Windows
<input checked="" type="checkbox"/> Network Protection	Windows, macOS
<input checked="" type="checkbox"/> Content Control	Windows, macOS
<input checked="" type="checkbox"/> Antiphishing	Windows, macOS
<input checked="" type="checkbox"/> Web Traffic Scan	Windows, macOS
<input checked="" type="checkbox"/> Network Attack Defense	Windows, macOS, Linux
<input type="checkbox"/> Device Control	Windows, macOS
<input type="checkbox"/> Power user	Windows
<input type="checkbox"/> Encryption	Windows, macOS
<input type="checkbox"/> Patch Management	Windows, macOS, Linux
<input checked="" type="checkbox"/> EDR Sensor	Windows, macOS, Linux

画面は英語選択時

なおモジュールは導入後に任意のタイミングで追加や削除ができます。またOS制限で利用できないモジュールは、そのOSのマシンではインストールされません。

プロキシがあるネットワークへ導入される場合

社内ネットワークでプロキシが設定されている場合には、このパッケージ作成時に合わせて、管理者から案内されている認証情報を入力して **SAVE** してください。これがないとインストール後、アップデート等を受け取ることができません。

Deployer

Connect to :

Bitdefender Cloud

Use proxy for communication

Server *:

Type here

Port *:

Type here

Username :

Type here

Password :

Type here

③ パッケージの配布方法は2つ

管理者がダウンロードしてから配布 or URLから直接ダウンロードする

管理者がいったんインストーラーを手元にダウンロードして、それを社内共有サービスを利用して配布する方法では、**Download**を選択してOSごとに「kit」をそれぞれダウンロードしてください。

kitは予め本体をダウンロードするためファイルサイズは大きくなりますが、各マシンでのインストール時間は最小となります。

DOWNLOAD ▾	SEND DOV
Windows Downloader	✓
Windows kit (Intel, AMD x86 32-bit)	✓
Windows kit (Intel, AMD x86 64-bit)	✓
Windows kit (ARM 64-bit)	✓
Linux Downloader	✓
Linux kit (Intel, AMD x86 32-bit)	✓
Linux kit (Intel, AMD x86 64-bit)	✓
Linux kit (ARM 64-bit)	✓
Security Container	✓
macOS Downloader	✓
macOS kit (Intel x86)	✓
macOS kit (Apple M Series)	✓

直接ダウンロードさせる方法では、**Send download links**を選択して、OS別に表示されているURLをコピーして、メールに貼り付けて案内してください。またはLinuxでwgetコマンドでこのURLを渡すことで、直接ダウンロードできます。

Downloaderは、ユーザPCで本体をダウンロードしながらインストールする形式です。各マシンで毎回ダウンロードする時間がかかります。

SEND DOWNLOAD LINKS

ADD EMAIL RECIPIENTS

Email address



INSTALLATION LINKS

Windows Downloader : [https://cloud.gravityzone.bitdefender.com/Packages/BSTWIN/0/setupdownloader_\[aHR0cHM6Ly9jb...](https://cloud.gravityzone.bitdefender.com/Packages/BSTWIN/0/setupdownloader_[aHR0cHM6Ly9jb...)



Linux Installer : https://cloud.gravityzone.bitdefender.com/Packages/NIX/0/Bst67L/setup_downloader.tar



macOS Downloader : https://cloud.gravityzone.bitdefender.com/Packages/MAC/0/Bst67L/setup_downloader.dmg



スマホへの導入は別の専用の方法となります

④最初の導入・動作検証

インストールが成功して最初の同期が完了すると、管理コンソール上にそのマシンがアイコンで表示されます。

作成したパッケージは、まず導入予定のPCを代表する構成を持つPC、同じ業務処理を行う代表的なPCにインストールしてください。複数のOS、環境への導入予定がある場合には、それぞれで1台でまず実施してください。そして動作確認後、他PCへ展開してください。

インストール方法 <https://secureawake.com/BitDefender-GravityZone.html#eval>

Windowsおよび Mac:

パッケージはインストーラー形式になっていますのでそのまま実行、またはアーカイブ形式になっている場合には解凍して実行し、あとは画面に従ってください。

Linux:

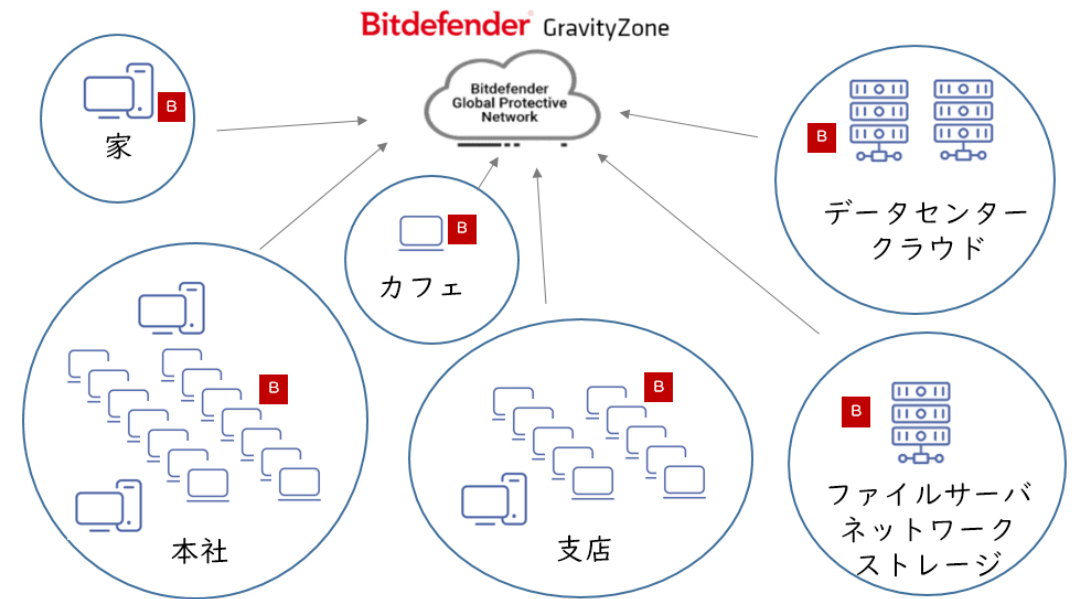
マシンで直接パッケージをダウンロードする場合は**以下全てroot権限**で、

```
# wget [前ページのInstallation LinkのURL]
```

tarファイルを解凍後、実行権限を与えて実行してください。

```
# chmod +x installer
```

```
# ./installer
```

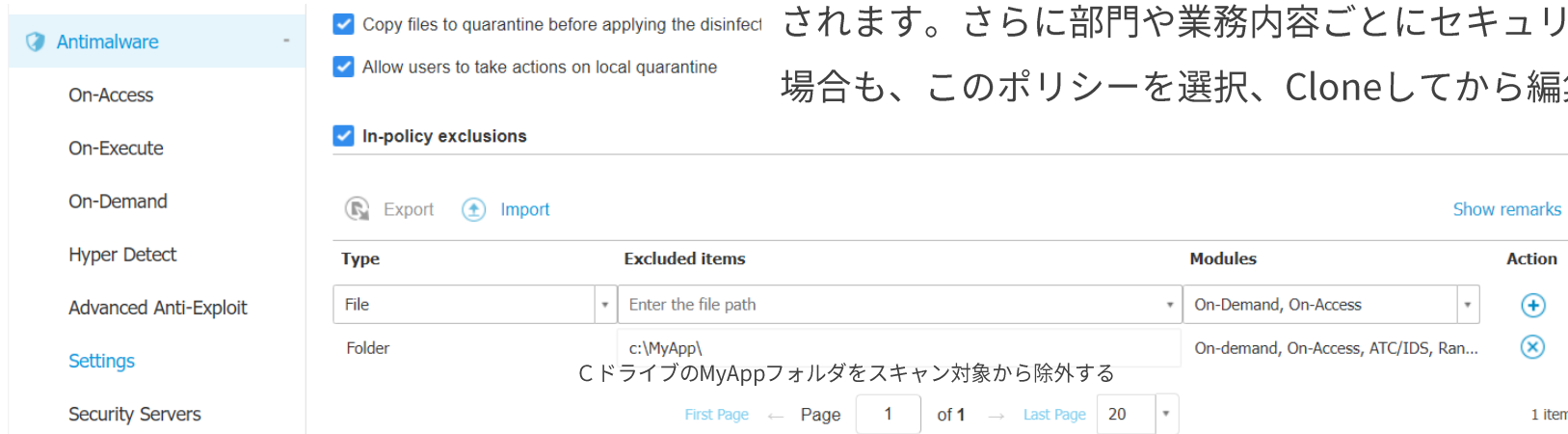


⑤ デフォルトポリシー作成のおすすめ

環境や社内システム、業種は部門に応じたルールを設定

ポリシーとは、各マシンにインストールされたBitdefenderの動きを規定するためのルールです。パッケージ作成で選択されてインストールされたモジュールもこのポリシーでONにしない限り動作しません（デフォルトではONですが…）。

デフォルトのままでも動作しますが、ぜひおすすめしたいのが御社専用のポリシーを作成することです。コンソールの左メニューPoliciesからAddをクリックすると作成モードに入ります。



Antimalware

- On-Access
- On-Execute
- On-Demand
- Hyper Detect
- Advanced Anti-Exploit
- Settings
- Security Servers

Copy files to quarantine before applying the disinfect

Allow users to take actions on local quarantine

In-policy exclusions

Export Import Show remarks

Type	Excluded items	Modules	Action
File	Enter the file path	On-Demand, On-Access	<input type="checkbox"/>
Folder	c:\MyApp\ CドライブのMyAppフォルダをスキャン対象から除外する	On-demand, On-Access, ATC/IDS, Ran...	<input checked="" type="checkbox"/>

First Page ← Page 1 of 1 → Last Page 20 1 items

特に、もし独自の社内システムアプリケーションを利用しており、それが誤検出されることを避けるためには、以下の図にあるように、除外リストに追加してください。

ポリシー保存後、再度をそのポリシーをクリックして「Set as default」することで、今後インストールするマシンには自動でこのポリシーが適用されます。さらに部門や業務内容ごとにセキュリティ強度を変更したい場合も、このポリシーを選択、Cloneしてから編集保存、適用します。

⑥ 評価ライセンスから正規ライセンスへの移行

ご注文後こちらで購入された正規ライセンスへ切り替えます。

社内PCへの展開、動作確認が済みましたら、お見積りを sales@secureawake.comまでご依頼ください。折返しお見積り金額をお伝えいたします。

返信にてご注文指示をいたたげましたら、弊社で手続きを開始します。発行されたライセンスをお客様アカウントに登録、同期がされたことを確認したのちに、請求書PDFを送る流れとなります。

<https://blog.secureawake.com/2021/04/transaction.html>

ライセンス内容は管理コンソール内のMy Companyページにて確認できます。本番運用開始後に、マシン数の追加や上位エディションへのアップグレードが可能です。

